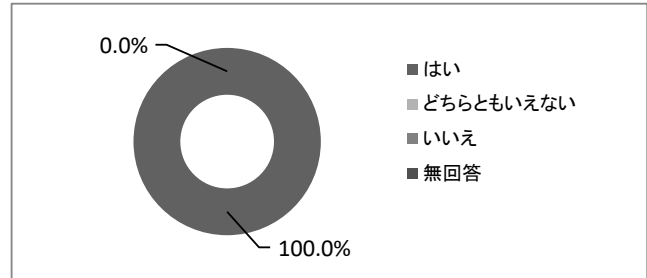


環境・体制整備について

1.利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

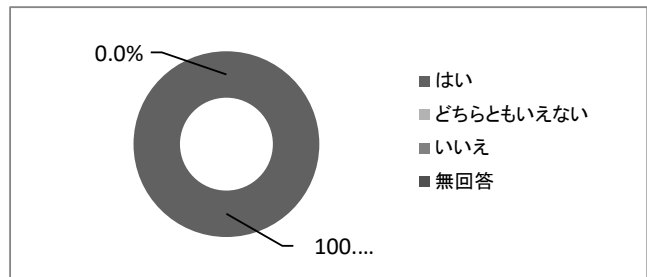


<今後の方策>

支援室は全部で5部屋あります。そのうち一部屋は、リラックスできる空間「スヌーズレン・ルーム」としてあります。面積基準はありませんが、一人当たり2.47㎡（1.6畳）以上が望ましいとされ、きずな園の支援室は全てそれ以上の広さが確保できています。

2.職員の配置数は適切であるか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

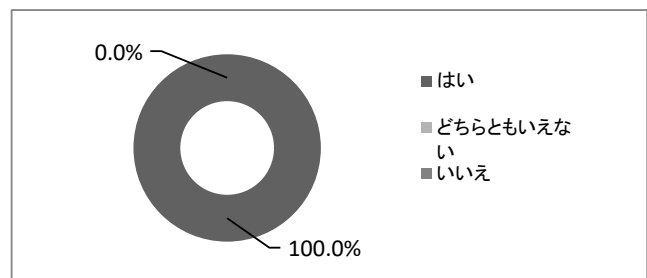


<今後の方策>

児童発達支援管理者1人、児童発達支援管理責任者1人、言語聴覚士1人、保育士2人、児童指導員1人が兼務で従事し、国の配置基準を満たしています。

3.事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



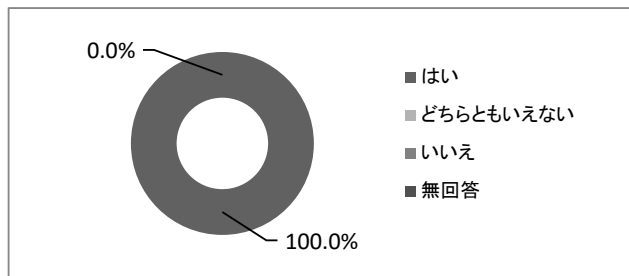
<今後の方策>

保健福祉センターの性質上、バリアフリーに特化した建物になっています。

業務改善

4.業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

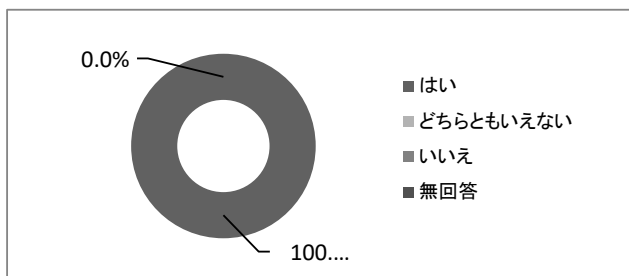


<今後の方策>

月2回ミーティングを行い、計画等を話し合って実行し、その後実行した結果について振り返るようにしています。次回に向けた改善点の意見も出し合い、よりよいものが今後計画、実行できるようにもしています。

5.保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

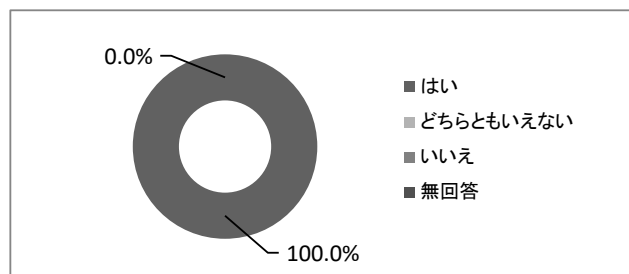


<今後の方策>

毎年、アンケート調査を実施して本人、家族の意向等を把握しています。今後も必要な改善を図っていきます。

6.この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

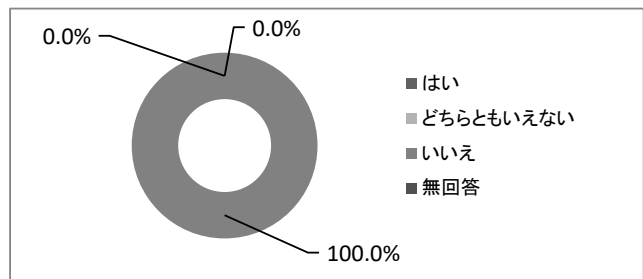


<今後の方策>

自己評価の結果は、町のホームページに公開しています。また、役場のまちづくり情報コーナーとさすな園事務所のカウンターでも閲覧ができるようにしています。さすな園利用児童の世帯には、自己評価の結果を配付しています。

7.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

はい	0	0.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	5	100.0%
無回答	0	0.0%

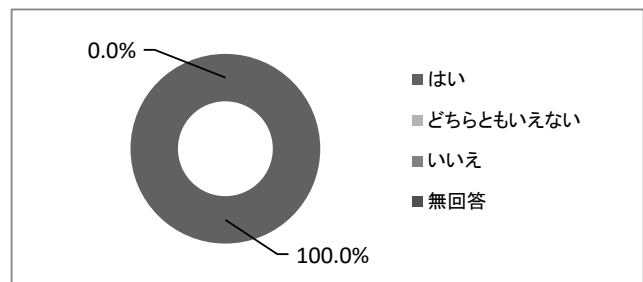


<今後の方策>

内外部による評議委員会の設置を検討します。

8.職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



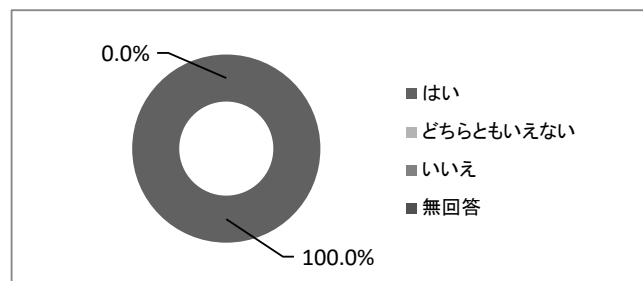
<今後の方策>

ハイブリット形式の研修が増え、遠方まで出張しなくてもZoomで研修を受けられる環境になりました。Zoom研修は複数人で受講できるため、今後も資質向上のため、多くの職員が研修を受けられるようにしていきます。

適切な支援の提供

9.アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

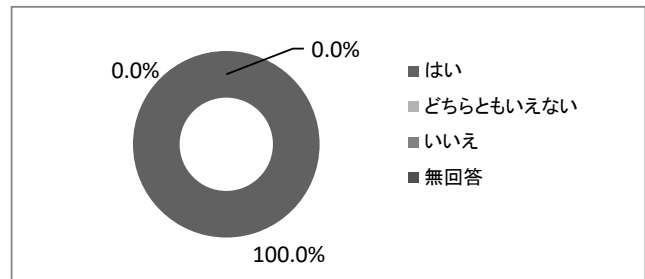


<今後の方策>

毎月、個別支援計画検討会議を行い、モニタリング期間を迎えた利用児童の評価を行っています。この評価をもとに本人と家族のニーズを照らし合わせ、実現できそうな具体的な目標を立てた個別支援計画書を作成しています。

10.子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

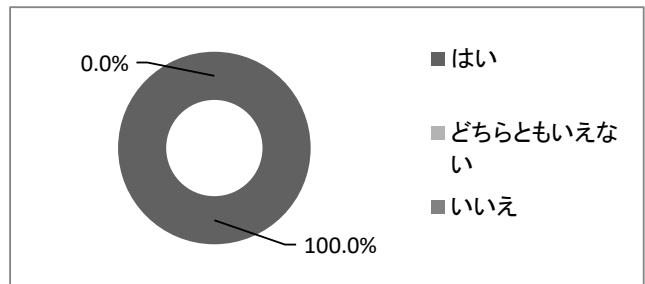


<今後の方策>

就学前(5歳)の利用児童には発達検査、小学1、3、5年生の利用児童には知能検査を実施し、得意なことと苦手なことを客観的に把握し、家族、各関係機関等と共通認識、共通理解を図っています。また、必要に応じて適応行動の発達水準を幅広くとらえるために、Vineland - IIの検査も実施しています。

11.活動プログラムの立案をチームで行っているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

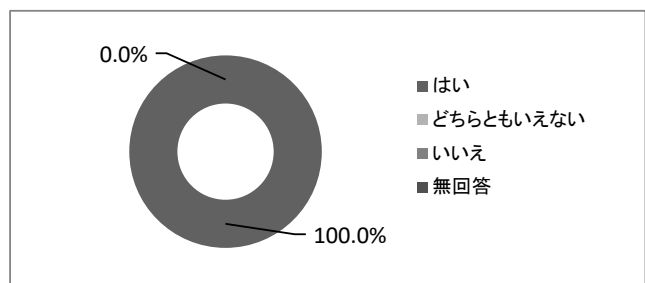


<今後の方策>

グループ支援を行う前には担当者同士が話し合い、活動プログラムを立案し実施しています。

12.活動プログラムが固定化しないように工夫しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

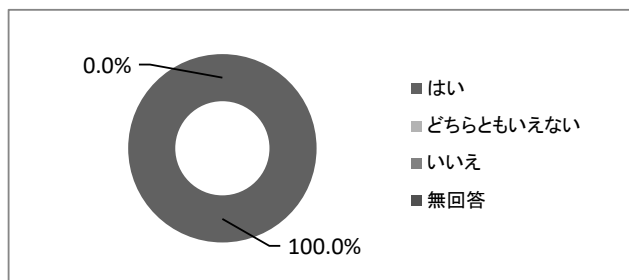


<今後の方策>

一人ひとりに合わせた活動プログラムを立案し、実現可能で具体的な到達目標を設定しています。目標達成後は、次のステップ(目標)に変更した活動プログラムを組んで支援しています。

13.平日や学校が休みの場合、また、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

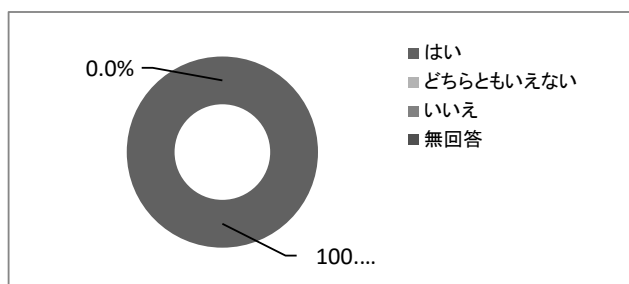


<今後の方策>

小学4年生以上を対象に、学校の夏期、冬期休業期間を利用してグループ支援で自立活動（入浴、買い物、調理等）の計画を立てて実施しています。今後も個々の生活レベルや能力に応じて、将来生活で必要となる技能の獲得のためのプログラムを組んで支援していきます。

14.子どもの状況に応じて、個別活動とグループ活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

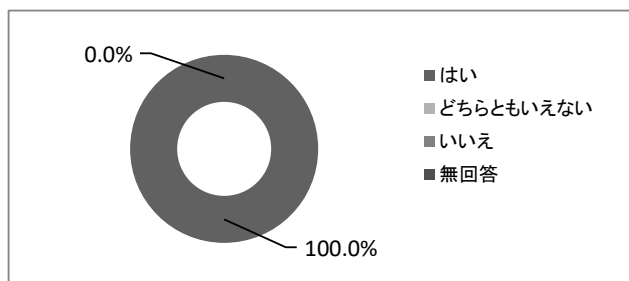


<今後の方策>

個別は基礎的な知識を得る学習体験、言語指導や運動支援等を行い、グループでは相手とのやり取りを通して社会的コミュニケーション能力の向上、生活で必要となる技能を身につけるトレーニングを行うなど、個別、グループと個々に合わせた個別支援計画を作成し、支援を行っています。

15.支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

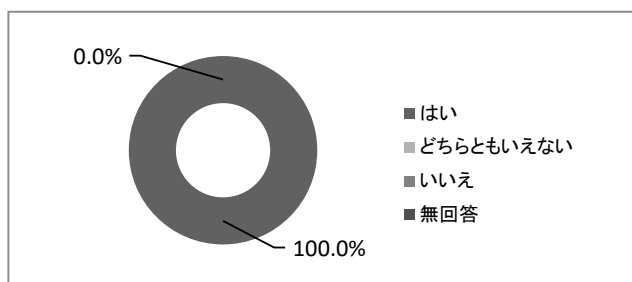


<今後の方策>

朝礼で職員の動向を確認しています。また、ホワイトボードに予定等を書き込み、いつでも確認ができるようにしています。

16.支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

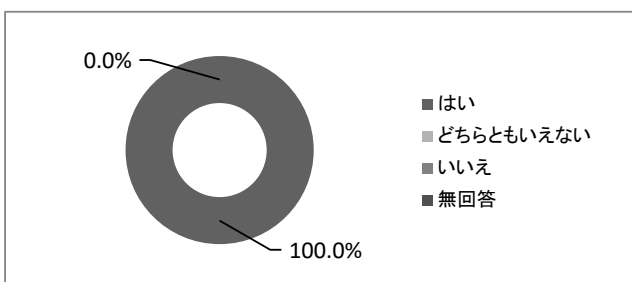


<今後の方策>

全職員で毎日振り返りを行うことは難しいですが、今後も必要に応じて行っていきます。

17.日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

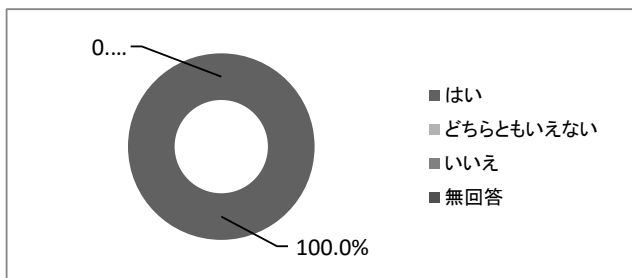


<今後の方策>

記録は毎月、児童発達支援管理者と児童発達支援管理責任者が確認しています。今後も継続します。

18.定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

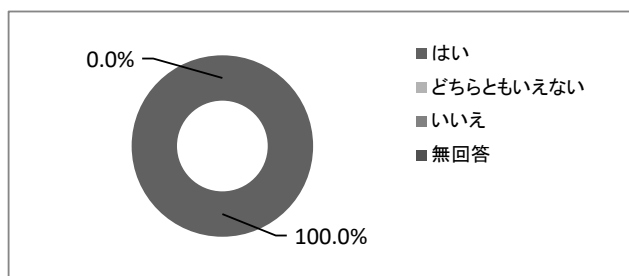


<今後の方策>

利用児童は6か月に1回のモニタリングを行い、毎月実施している個別支援計画検討会議で協議、検討し、必要に応じて適宜個別支援計画を見直しています。

19.ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせせて支援を行っているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



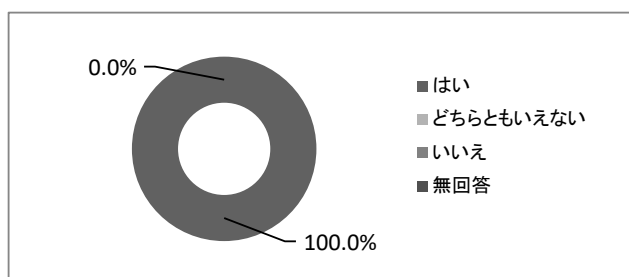
<今後の方策>

国のガイドラインに則り支援を行っていますが、社会経験の幅を広げる意味での地域との交流を図ることが少なく、今後の課題です。

関係機関や保護者との連携

20.障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

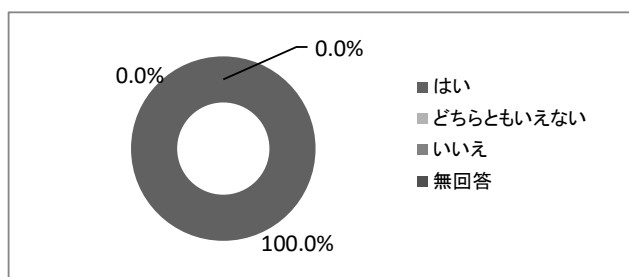


<今後の方策>

小学生は奇数学年、中学生は全学年を対象としたサービス担当者会議が年間で計画され、保護者の希望と依頼のもと、会議には利用児童の担当職員が出席しています。今後も積極的に会議や面談には参加していきます。

21.所属所との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

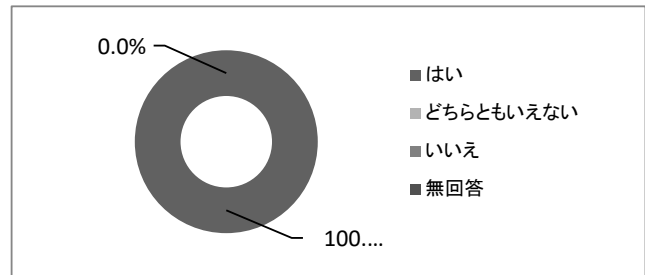


<今後の方策>

毎月、町内のこども園・小・中・高校の行事予定一覧を確認し、行事と支援日が重なる場合は、本人と保護者の意向に合わせて療育を受入れています。今後も利用児童の所属所と情報共有、連絡調整を適宜行っていきます。

22.医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

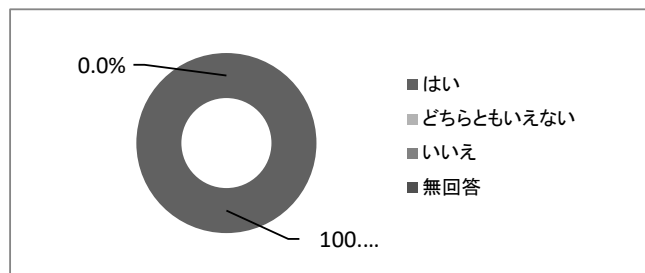


<今後の方策>

今年度、医療的ケア児等に関するコーディネーターを子育て支援課に1名配置しました。必要に応じて医療機関（主治医）と連携していきます。

23.自立支援協議会等へ積極的に参加しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

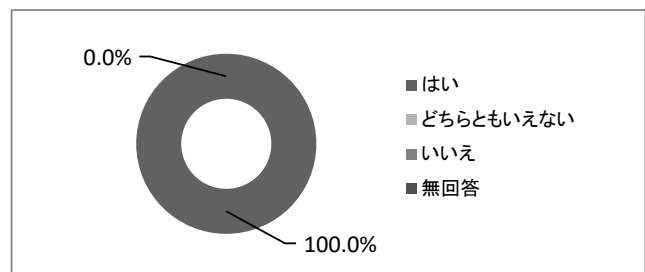


<今後の方策>

児童発達支援管理者が出席しています。

24.日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

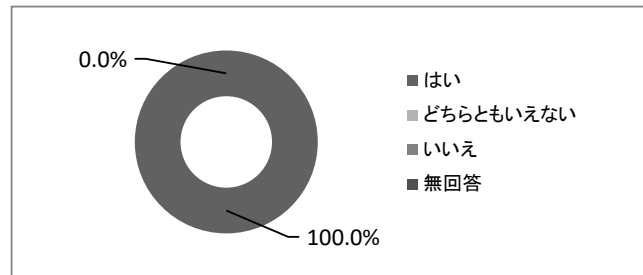


<今後の方策>

基本月1回、保護者と面談する機会をつくり、利用児童の成長について話し合う時間を持つようにしています。今後も継続して保護者と話し合える時間を大事に確保していきます。

25.保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し子どもの養育技術を獲得してもらうための練習を行っているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



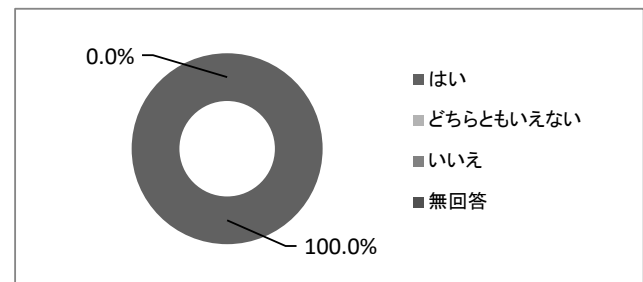
<今後の方策>

療育で学んだことを集団場面や家庭で実践してもらい、うまくいった成功体験が自信につながるよう、子どもをほめて認めてあげることが心掛けてほしいと保護者の方に働きかけています。今後も親子の成長を促し、生活がうまくいく手立てのアドバイスをしていきます。

保護者への説明責任等

26.運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

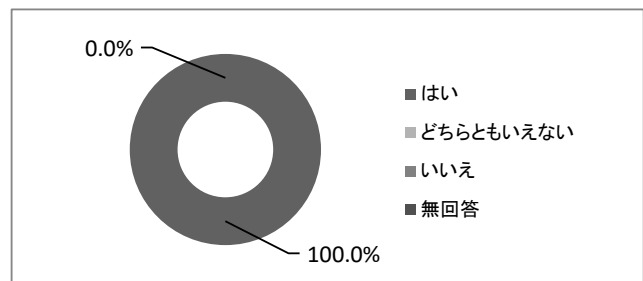


<今後の方策>

今後も契約時に丁寧に説明をしていきます。

27.保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

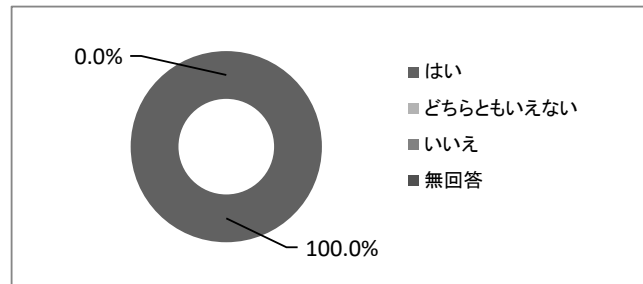


<今後の方策>

専門性を活かしたアドバイスができるよう、今後も研鑽を積んでいきます。

28.父母の会の活動を支援したり、学習会、懇親会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

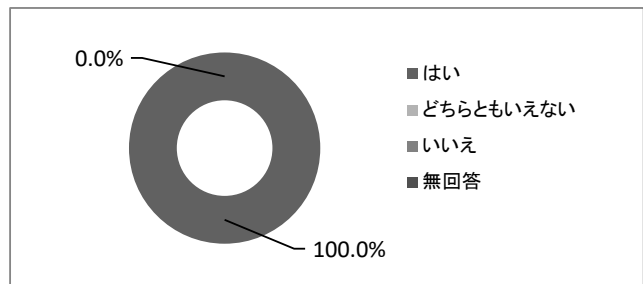


<今後の方策>

今後もきずな園父母と先生の会の活動を事務局として支えていきます。

29.子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

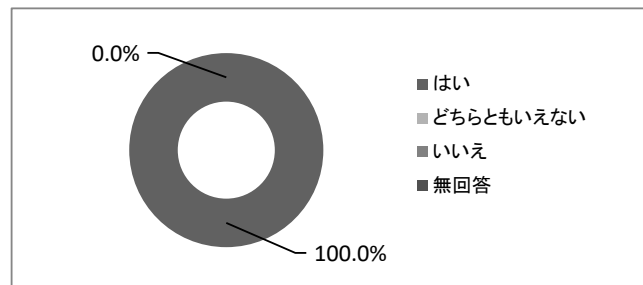


<今後の方策>

苦情または申入れが1件あり、事実確認を迅速に行い、職員間で問題点を明確にしました。苦情解決責任者代理が保護者と話し合い、事情説明を行い、お詫びと再発防止のための今後の対応策を伝え、解決しています。また、このことは職員間でも共有し、改善し気をつけることを周知しました。

30.定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

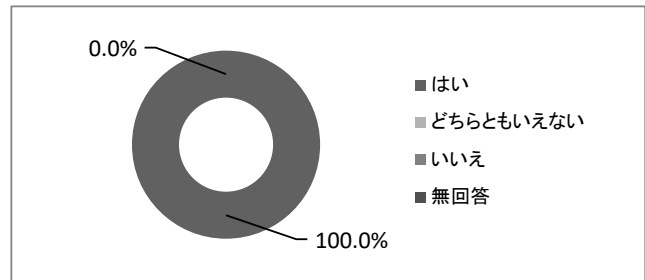


<今後の方策>

4月と奇数月に園だよりを計画的に発行しました。今後も必要な情報提供を積極的に行っていきます。

31.個人情報の取り扱いに十分注意しているか

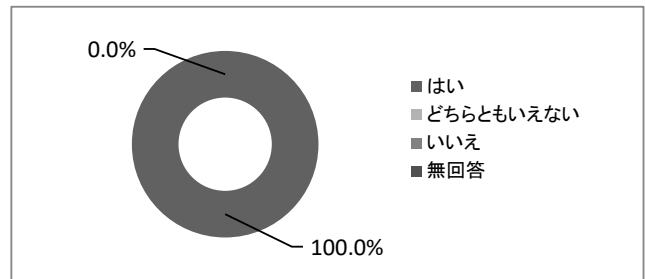
はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



<今後の方策>
引き続き慎重な取り扱いをしていきます。

32.障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

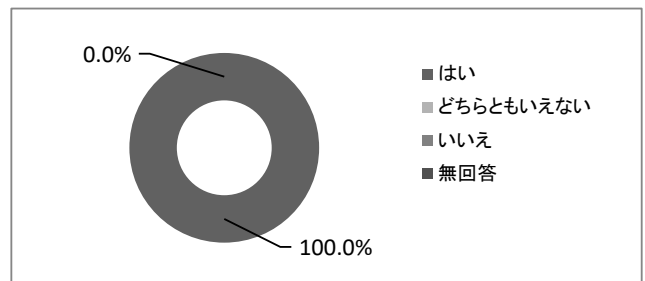


<今後の方策>
今後も利用児童にわかりやすいコミュニケーション手段で伝えていくことを心がけます。また、保護者への説明の際には、なるべく専門用語を使わないで具体的でわかりやすいことばを用いて伝えていくようにします。

非常時等の対応

33.緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

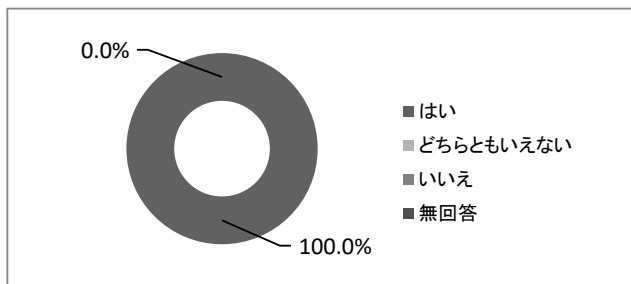
はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



<今後の方策>
きずな園事務所のカウンターで閲覧できるようになっています。今後も保護者には園だよりを通じて、定期的に周知の発信を行っていきます。

34.非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

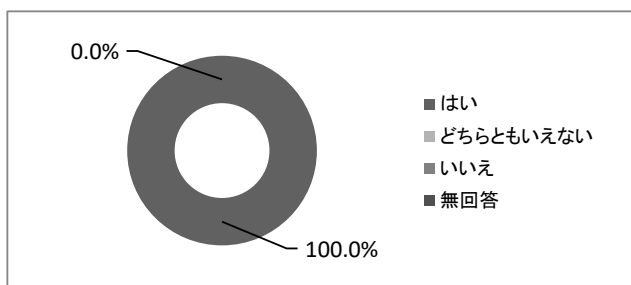


<今後の方策>

今年度は10月26日に役場と保健福祉センター合同で避難訓練を実施しました。訓練時刻にきずな園を利用していた方には避難に協力してもらっています。今後はその様子について園だより等でお知らせしていきたいと思ひます。

35.虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

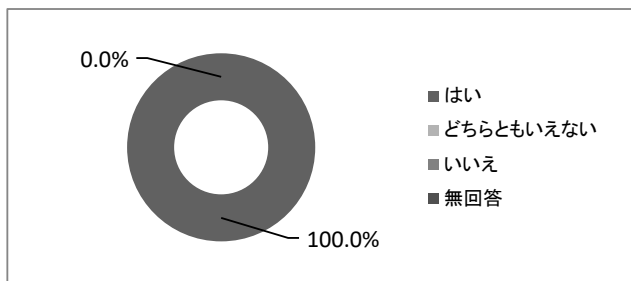


<今後の方策>

今年度は、虐待防止委員会の研修会を1回実施しました。今後も虐待防止等に関する研修を年1回以上実施していきます。

36.どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

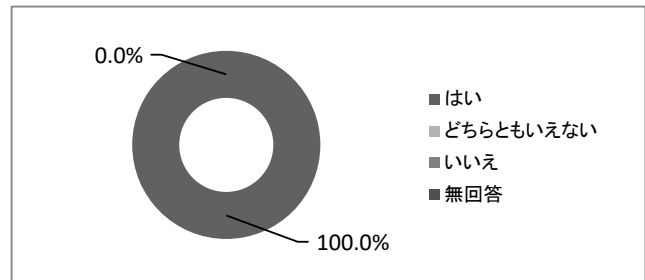


<今後の方策>

虐待防止委員会運営指針の中に、身体拘束について明記して対応をすることになっています。また、個別支援計画書にも身体拘束についての説明を明記しています。

37.食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

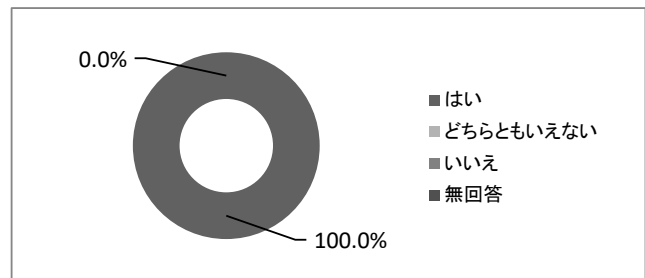


<今後の方策>

調理実習以外、食事を提供する機会はありませんが、アレルギー体質のある利用児童については、かかりつけ医師の指示書の提出をお願いする場合があります。（例；ラテックスアレルギー等）

38.小さな事故でも報告を行い事業所内で共有しているか

はい	5	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



<今後の方策>

怪我や事故につながる恐れがある場合は、小さなことでもすぐに職員間で状況を共有し合い、早急に対策を講じていく職場環境を今後も継続していきます。